

平成22年度研修実施内容

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日 数	定 員	研 修 科 目	時間数	講師等 (敬称略)
新 任 職 員 研 修	高齢者福祉種別 新任職員研修 1 平成22年 5月10日(月)～ 11日(火)	職業倫理や福祉施設従事者の役割、コミュニケーションに関する講義演習を行う事により利用者へのサービスの向上を図る。	・高齢者福祉種別施設において勤務年数が2年未満の者 ・現任のホームヘルパーで経験年数が2年未満の者 ・県・市町村社会福祉相談機関の新任職員	2	120	①講義 「社会福祉従事者の基本理念と役割」 ②リレートーク・グループ討議 「社会福祉従事者として目指すもの」 ③講義・演習 「対人援助を学ぶ」	2.00 2.30 5.00	特別養護老人ホーム 紅梅荘 荘長 結城和雄 中堅職員5名 ※1 仙台白百合女子大学 講師 吉田輝美
	高齢者福祉種別 新任職員研修 2 平成22年 5月24日(月)～ 25日(火)	職業倫理や福祉施設従事者の役割、コミュニケーションに関する講義演習を行う事により利用者へのサービスの向上を図る。	・高齢者福祉種別施設において勤務年数が2年未満の者 ・現任のホームヘルパーで経験年数が2年未満の者 ・県・市町村社会福祉相談機関の新任職員	2	120	①講義 「社会福祉従事者の基本理念と役割」 ②リレートーク・グループ討議 「社会福祉従事者として目指すもの」 ③講義・演習 「対人援助を学ぶ」	2.00 2.30 5.00	特別養護老人ホーム 紅梅荘 荘長 結城和雄 中堅職員5名 ※1 仙台白百合女子大学 講師 吉田輝美
	保育所・児童福祉 関係種別 新任職員研修 平成22年 5月18日(火)～ 19日(水)	社会人としての基本的なルールとマナーを身につけ、児童福祉従事者としての責任と役割を理解する。 子どもや保護者、職場の組織などについて理解し、保育力の向上を図る。	・保育所において勤務年数が2年未満の者 ・児童福祉関係種別施設において勤務年数が2年未満の者 ・県・市町村社会福祉相談機関の新任職員	2	60	①講義 「児童福祉施設従事者の役割」 ②グループ討議 「社会福祉従事者として目指すもの」 ③講義 「子どもの発達とプロとしての関わり」 ④講義・実技 「心ほぐしの体あそび」	2.00 2.30 2.30 2.30	山形学園 園長 片桐弥生 同上 元山形大学教授 高橋芳子 東北生活文化大学 講師 奥山優佳
	障がい児・者福祉 関係種別 新任職員研修 平成22年 5月27日(木)～ 28日(金)	福祉現場でもとめられている専門職としての着眼点や普遍的な理念や職業観を確認する。 障がい者理解のための知識の習得、対処の仕方、関わり方について学ぶ。	・障がい児・者福祉関係種別事業所において勤務年数が2年未満の者 ・県・市町村社会福祉相談機関の新任職員	2	60	①講義 「社会福祉従事者の役割」 ②グループ討議 「社会福祉従事者として目指すもの」 ③講義・演習 「人間関係とコミュニケーション」	2.00 2.30 5.00	障がい者支援施設 向陽園 施設長 井上博 中堅職員等6名※2 東北コミュニケーション研究所 所長 高橋利夫

(※1) リレートーク・グループ討議

(特養) 寿康園 渡部幸雄/ (特養) やまのべ荘 武田吉美/ (特養) そよ風の森 梅津一郎/ (特養) 六日町あいあい医務室 小平淳二
(特養) さいわい荘 佐藤美奈子/ (特養) みすぎ荘 阿部清彦/ (特養) 成嶋園 太田 薫

(※2) グループ討議

山形県リハビリセンター 鏡友由/障がい者支援施設いきいきの郷 朝妻智代子/山形コロニー就労サポートセンター 渡辺博樹
障がい者支援施設向陽園 志賀貴美枝/鶴岡市社会福祉協議会ゆうあいプラザかたぐるま 阿部哲也
山形県立総合コロニー希望が丘こだま寮 菅原ひろみ

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日 数	定 員	研 修 科 目	時間数	講師等 (敬称略)
施設 職員 員 研 修	社会福祉施設 ケアリーダー研修 平成22年 6月17日(木)～ 18日(金)	社会福祉施設において介護・援助業務のリーダー的立場にあるものが人材育成における指導者の心構えや、職場内の人間関係のあり方、施設における苦情対応、およびコンプライアンスルールについて学ぶ。	・社会福祉施設(保育所を除く)において介護・援助業務のリーダー的立場にある者等(平成21・20年度受講者を除く)	2	100	①講義 「組織・職場内の人間関係の在り方」 ②講義・演習 「コンプライアンスルール策定のポイント」	4.30 5.00	奥山経営センター 代表取締役社長 奥山 享 特定非営利活動法人 ふくし@JMI 理事表 小湊純一
	高齢者介護関係 職員研修1 平成22年 11月12日(金)	県内の高齢者福祉の現状を把握するとともに、日常生活を支える介護の目的を再確認し理解を深める。	・高齢者介護関係事業所における介護業務担当職員	1	100	①講義 「山形県の高齢者の現状と課題」 ②講義 「利用者の尊厳を支える介護～介護過程の展開と介護活動に必要な科学的根拠について～」	1.30 3.00	山形県健康福祉部 長寿社会課 課長補佐 鈴木雅人 東北文教大学短期大学部 講師 橋本美香
	高齢者介護関係 職員研修2 平成22年 6月14日(月)	認知症及び生理学について基礎的な知識を学ぶことにより、利用者サービスの向上を図る。	・高齢者介護関係事業所における介護業務担当職員	1	100	①講義・演習 「生理学から学ぶ認知症」	4.30	聖隷クリスティア大学 教授 日本ヒューマンヘルスケア研究所 所長 中村裕子
	高齢者介護関係 職員研修3 平成22年 7月7日(水)	認知症の病態と予防、ケアのポイントについての専門性を高め、利用者サービスの向上を図る	・高齢者介護関係事業所における介護業務担当職員、及び管理・指導的立場の職員	1	100	①講義 「認知症のメカニズムを理解する」 ②講義・演習 「認知症へのケアのポイント」	1.30 3.00	日本社会事業大学 教授 今井幸充 同上
	高齢者介護関係 職員研修4 平成22年 10月12日(火)	利用者のより良い介護を目指すため、生活機能を活かすことについて学ぶ。	・高齢者介護関係事業所における介護業務担当職員	1	100	①講義 「利用者に寄り添う排泄ケア」 ②講義・演習 「排尿日誌の書き方と排泄用具の使い方」	1.30 3.00	コンチネンスジャパン株式会社 皮膚・排泄ケア認定看護師 高崎良子 同上
	高齢者介護関係 職員研修5 平成22年 10月25日(月)	摂食・嚥下の仕組みを理解し、摂食・嚥下障害への基本的な対応を学ぶことを目的とする。	・高齢者介護関係事業所における介護業務担当職員	1	100	①講義・実技 「摂食・嚥下障害とは～対応の基本を確認しよう～」	4.30	昭和大学歯学部 小児成育歯科学教室 兼任講師 綾野理加 昭和大学歯科病院歯科衛生室 歯科衛生士 柴田由美
	障がい児・者施設 職員研修 平成22年 7月20日(火)～ 21日(水)	エンパワーメント支援及びあらゆる対人援助活動に不可欠な相談面接技術について講義及び演習を通じて学ぶ。	・障がい児者福祉施設、障害者自立支援法の居宅介護事業所等に勤務する直接処遇職員	2	50	①講義・演習 「相談面接技術」 ②講義 「新しい障害者総合福祉法と障害者のエンパワーメント支援」 ③講義・演習 「それぞれの現場でのエンパワーメント支援とは」	4.30 2.00 3.00	仙台白百合女子大学 講師 吉田輝美 関西地域支援研究機構 代表 北野誠一 同上

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日 数	定 員	研 修 科 目	時間数	講師等 (敬称略)
施設 職員 研修	社会福祉施設 看護師研修 平成22年 11月19日(金)	社会福祉施設における看護師の役割について学び、質の高い介護サービスの提供を図る。	・社会福祉施設(保育所を除く)に勤務する看護職および保健担当職員等	1	80	講義・演習 「社会福祉施設における看護師の役割」	5.00	介護老人保健施設 鶴舞乃城 看介護部長 高口光子
	社会福祉施設栄養士・調理担当者研修 平成22年 7月2日(金)	食事の役割について学ぶとともに、咀嚼と嚥下が困難な方向けの食事について学ぶことを目的とする。	・社会福祉施設(保育所を除く)に勤務する栄養士および調理担当者等	1	100	①講義 「食事の役割について」 ②演習 「かむ・のみこむが困難な人向けの食事について」	2.00 2.30	相模女子大学短期大学部非常勤講師 日本歯科大学付属病院臨床講師(栄養士) 山田晴子 特別養護老人ホームまごころ荘 管理栄養士 (山形県老人福祉施設協議会特養部会栄養士研究会副会長) 三浦由美
保 育 所 職 員 研 修	保育所主任保育職員研修 平成22年 11月8日(月)～ 9日(火)	現在の子育てをめぐる状況や課題を理解し、保育士の資質向上を図るための研修や評価のあり方について学ぶ。	・保育所、児童館、認可外保育施設職員で主任業務を行う者	2	100	①講義 「幼保小連携スタートプログラム ～『遊び』から『学び』へ共に育む自主性と思いやり～」 ②講義 「気になる子どもの支援」 ③講義・演習 「保育力の向上を図る～園内研修のあり方と自己評価～」	2.00 2.30 5.00	山形県教育庁義務教育課 指導主事 樋渡美千代 FR教育臨床研究所 所長 花輪敏男 東洋大学 教授 清水玲子
	3歳未満児 保育研修1 平成22年 10月26日(火)	乳幼児に増加している食物アレルギーについての知識と保育所における対処方法を学習する。	・保育所、児童館、認可外保育施設職員	1	100	①講義 「乳幼児期の食物アレルギーとその対応」	4.00	国立病院機構 相模原病院 小児科医 今井孝成
	3歳未満児 保育研修2 平成22年 11月18日(木)	乳幼児期に体験する遊びを通してコミュニケーション能力や表現力を豊かにすることの大切さやそれらが子どもの成長と発達にどのように影響するのかについて学習し、それらを支援する保育者の役割について考える。	・保育所、児童館、認可外保育施設職員	1	100	①講義・演習 「コミュニケーションを豊かに育む保育」	4.30	立教女学院短期大学 今井和子
	3歳以上児 保育研修 平成22年 6月25日(金)	3歳以上児の心身の発達を考慮し、幼児期以降の成長をも視野に入れながら、この時期にふさわし支援を理解する。 自然に親しみながら、知力、体力、探究心などの土台を育む保育を考える。	・保育所、児童館、認可外保育施設職員	1	100	①講義 「“いろんな”心”が見えますか?…親と子の幸せを祈る助産師からのメッセージ…」 ②講義・実技 「わくわくどきどき自然ふれあい遊び」	2.00 2.30	酒田市立八幡病院 助産師・看護師 後藤敬子 ろぜっとわーくす 代表 中山康夫

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日 数	定 員	研 修 科 目	時間数	講師等 (敬称略)
保育所 職員 研修	障がい児保育等 療育担当者研修 平成22年 6月10日(木)	障がい児を理解し、個々のニーズを捉えた適切な支援ができるよう学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、児童館、認可外保育施設の障がい児担当職員 ・知的障がい児施設、同通園施設および児童養護施設に勤務している職員 ・放課後児童クラブの障がい児担当職員など 	1	100	講義・演習 「発達障がい児の理解と保育」	4.30	山形大学医学部 看護学科 教授 横山浩之
	主任ホームヘルパー研修 平成22年 9月16日(木)～ 17日(金)	訪問介護計画書の役割と、それを具現化する書き方を理解すると共に、ホームヘルパーの指導について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・主任ホームヘルパーまたは主任の業務を担当している者 ・サービス提供責任者 	2	100	①講義・演習 「訪問介護計画書とヘルパーの指導」	9.30	介護アドバイザー 櫻井和代
地 域 福 祉 活 動 者 研 修	ホームヘルパー 研修1 平成22年 7月27日(火)	対人援助技術を学び、専門職としての資質の向上を図る。	・現任のホームヘルパー	1	70	①講義・演習 「ホームヘルパーの専門性を高める対人援助技術」	4.30	仙台白百合女子大学 講師 吉田輝美
	ホームヘルパー 研修2 平成22年 8月24日(火)	認知症の病理と症状、対応について理解し、介護場面での問題点などを考えながら、より良い介護を探る。	・現任のホームヘルパー	1	70	①講義・演習 「認知症のケア」	4.30	東北福祉大学 講師 後藤美恵子
	ホームヘルパー 研修3 平成22年 11月16日(火)	ヘルパーとしての介護技術、介護予防について学ぶことを目的とする。	・現任のホームヘルパー	1	70	①講義・実技 「ホームヘルパーの介護技術」	4.30	老人保健施設うらら 事務長 (作業療法士) 佐藤裕邦
専 門 研 修	カウンセリング セミナーⅠ 「カウンセリングの基本を学ぶ」 平成22年 6月22日(火)～ 23日(水)	援助的な役割を果たす際に身につけておく良いカウンセリングの基本的な心構えと知識・技術を学ぶことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉事業従事者で、相談業務担当職員または社会福祉行政機関の相談担当職員 (平成19年度～平成21年度において当研修受講者を除く) 	2	120	①講義・演習 「カウンセリングの基本を学ぶ」	9.30	オアシス・カウンセリング・サービス 代表 増田泰司

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日 数	定 員	研 修 科 目	時間数	講師等 (敬称略)
専 門 研 修	職場研修 指導者研修 平成22年 前期 7月14日(水) 後期 8月27日(金)	各施設・事業所において「職場研修」を企画・運営する職員が職場研修の実施体制や職場研修の企画・運営に関する知識・技術を習得し、研修の効果的な推進方法について学ぶ。	・社会福祉施設職場内研修指導者のみ (児童関係職員を除く、1施設1名、平成21年度の受講者除く)	2	60	①講義・演習 「職場内研修体制の整備と研修の効果的な推進方法」	9.30	東海大学 専任講師 阿部正昭
	社会福祉専門講座 1 平成22年 8月31日(火)	記録の意義と目的について理解するとともに、適切な記し方について学ぶ。	・高齢者福祉施設(通所系を除く)、障がい者福祉施設、児童施設職員等 (保育所を除く) (1施設1名、平成20・21年度未受講施設を優先する。)	1	60	①講義・演習 「社会福祉施設における記録について～記録が変われば職場が変わる～」	5.00	日本女子大学 教授 久田則夫
	社会福祉専門講座 2 平成22年 8月3日(火)	社会福祉事業を行う責任者が、社会福祉施設運営のあり方について学ぶとともに、トップの責任と役割について確認する。	・高齢者福祉施設、身体障がい者更生援護施設、知的障がい者援護施設、児童施設職員等(保育所を除く) (1施設1名、平成20年度の受講者除く)	1	80	①講義 「社会福祉施設運営管理について～介護事故裁判例を素材に～」	4.30	東北福祉大学 准教授 菅原好秀
	社会福祉専門講座 3 平成22年 10月15日(金)	子どもの心身の発達と言葉の発達の相互関係を理解し、言葉を育てるための子どもたちへの支援方法について学ぶ。	・保育関係職員など	1	110	①講義・演習 「ことばに遅れがある子どもに大人ができること」	4.30	子どもの発達支援を考 えるSTの会 代表(言語聴覚士) 中川信子
	社会福祉専門講座 4 平成22年 10月19日(火)	社会福祉施設における働きやすい職場環境作りやメンタルヘルスを保つための支援・介入方法、復職者への支援方法について学ぶ。	・県内社会福祉施設の管理者等	1	80	①講義・演習 「社会福祉施設におけるメンタルヘルスについて」	4.30	東京学芸大学 特任准教授 (臨床心理士) 菊住彰
	社会福祉専門講座 5 平成22年 11月26日(金)	職場で抱えるストレスについてどう対応していけばよいのか、ストレスの対処方法について学習する。	・県内社会福祉従事者等	1	120	①講義・演習 「社会福祉従事者のメンタルヘルスについて」	4.30	東京学芸大学 特任准教授 (臨床心理士) 菊住彰